

2026年5月15日

各 位

会社名 株式会社秋川牧園
代表者名 代表取締役社長 秋川 正
(コード番号:1380 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理部長 原田 良人
(TEL 083-929-0630)

特別損失及び法人税等調整額の計上 並びに2026年3月期 通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)において、下記のとおり特別損失(減損損失、関係会社株式評価損)及び法人税等調整額を計上いたしました。また、2025年5月14日に公表しました2026年3月期通期業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上(個別・連結)

当社の食品を中心とした個人向け宅配事業(直販事業)について、事業環境の変化を踏まえ、収益性及び今後の見通しについて慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、94百万円の減損損失を計上いたしました。今後は会員様限定商品の投入、ECサイトのユーザビリティ改善、ブランドコンセプトを軸にしたコミュニケーションの充実など、事業競争力の強化に取組み、売上拡大と収益性向上に努めてまいります。

また、鶏肉の生産・販売を行う中国の子会社秋川牧園(常州)有限公司においても、中国国内の経営環境の変化を踏まえ、固定資産の回収可能性を検討した結果、48百万円の減損損失を計上いたしました。今後は、鶏の生産成績向上による生産効率の改善に加え、既存取引先の拡販及び新規開拓を強化し、売上拡大と収益性向上に努めてまいります。

2. 関係会社株式評価損の計上(個別)

上記子会社における減損損失の計上に伴い、同社株式の実質価額が著しく低下したため、個別決算において関係会社株式評価損97百万円を特別損失として計上いたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 法人税等調整額の計上

2026年3月期及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を追加計上することといたしました。これにより、2026年3月期連結累計期間において、法人税等調整額(益)42百万円を計上いたしました。

4. 2026年3月期通期業績予想数値と実績数値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,360	102	120	70	16.90
実績値（B）	8,283	143	186	21	5.23
増減額（B-A）	△77	41	66	△48	
増減率（%）	△0.9	40.2	55.7	△69.1	
（ご参考） 前期実績（2025年3月期）	7,957	△3	51	28	6.76

（2）個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,160	120	80	19.28
実績値（B）	8,083	158	△20	△5.04
増減額（B-A）	△77	38	△101	
増減率（%）	△0.9	31.7	—	
（ご参考） 前期実績（2025年3月期）	7,727	54	37	9.07

（差異の理由）

売上高につきましては、冷凍加工食品の販売が堅調に推移したものの、直販事業において消費者の節約志向の高まりなどを背景に、新規会員数の減少及び注文率の低下により、当初予想を下回りました。

営業利益につきましては、冷凍加工食品の販売増加に加え、間接部門における人件費及び経費が想定を下回ったことから、当初予想を上回りました。

経常利益につきましては、上記の増加要因に加え、行政からの雇用奨励金の営業外収入などにより、当初予想を上回りました。

当期純利益につきましては、減損損失（個別・連結）の計上及び関係会社株式評価損（個別）の計上により、当初予想を下回りました。

以 上